

# くらしを楽しむデザイン

あぐらをかける椅子



地域のめぐみを手仕事に



宇城市出身の工業デザイナー

# 秋岡芳夫展

AKIOKA  
YOSHIO

木とあそぶ



和洋兼用がいい



道具は手の延長



いろいろ使えるのいい



2018年

1月5日(金) → 2月4日(日)

開館時間 10:00~18:00 (土日祝は17:00閉館)  
※入館は閉館の30分前まで

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合翌火曜日)

入館料 大人300円 大高生200円 中学生以下無料

※20名以上の団体は2割引

※障害者・戦傷病者の各種手帳の交付を受けている方及びその介護者の方は半額

主催 宇城市不知火美術館、宇城市教育委員会

協力 一般財団法人熊本県伝統工芸館

重なるのいい



## 宇城市不知火美術館

熊本県宇城市不知火町高良 2352 TEL 0964-32-6222

<http://kumamoto-museum.net/shiranuhi/>

左下から時計回りに 竹の子重(青森県)、たたきのみ・切出小刀(左久作・東京都)、フクロウオーナメント(北海道旭川市)、あぐらのかける男の椅子(秋岡芳夫)、「暮らしの絵本」イラストより(秋岡芳夫)、楕円皿(岩手県洋野町)、蕎麦猪口(長崎県波佐見町)、コーナーバスケット(中島司・熊本県)

# 宇城市出身の工業デザイナー秋岡芳夫

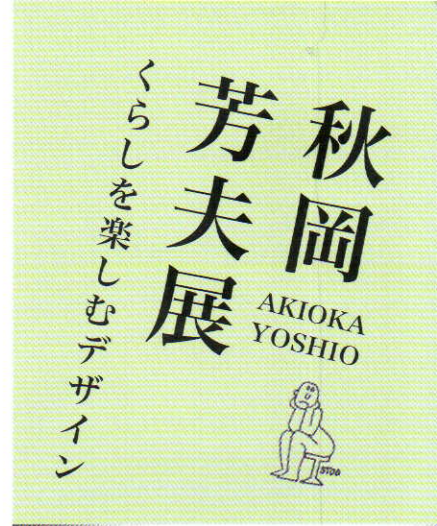
秋岡芳夫氏(1920～1997)は熊本県下益城郡豊福村(現宇城市松橋町)に生まれ、童画家、工業デザイナー、生活デザイナー、プロデューサーなどとして幅広く活躍しました。

1950年代、秋岡氏は工業デザイングループKAK(カック)のメンバーとともにラジオやカメラをはじめ数々の工業製品のデザインで名品を生み出しました。高度経済成長をむかえ急激な工業化が進むと、秋岡氏は社会の大量生産・大量消費の風潮に疑問を感じはじめます。そうしたなか生まれたグループモノ・モノは、秋岡氏を中心に様々な職種の人々が集まって、作り手、売り手、使い手のよりよい関係を目指しました。

日本各地で地方産業デザインの取り組みが始まると、秋岡氏には指導依頼が集まり、岩手県大野村(現洋野町)、北海道置戸町、島根県匹見町など全国を飛び回り、その土地の資源を生かした産業創出に取り組みました。1982年に開館した熊本県伝統工芸館は、秋岡氏がコンセプトづくりから関わり、「地域におけるモノづくりと暮らし」という考え方が取り入れられています。

本展では、秋岡氏が手仕事の魅力を伝え、物の選び方や多様な使い方など暮らしを楽しむ提案を行った工芸品を中心に展示します。

さらに今回は、秋岡氏の父であり、日本図書館の発展に寄与した秋岡梧郎氏(1895～1982)についてもご紹介します。

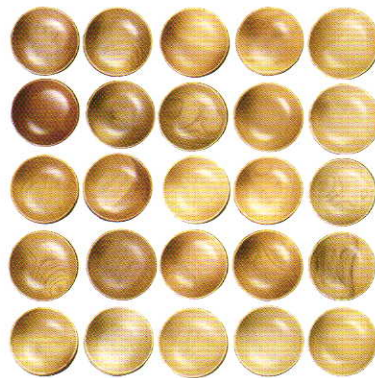


秋岡 芳夫 (あきおか よしお)

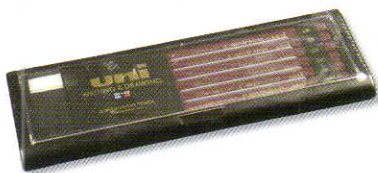
1920年熊本県下益城郡豊福村(現宇城市松橋町)に生まれる。東京高等工芸学校卒業。1953年に金子至、河淵の助らと工業デザイングループKAKを設立し1959年に第5回毎日産業デザイン賞を受賞するなど数多くの工業製品のデザインを手掛ける。「消費者から愛用者へ」という持論を実践し、日本各地で手仕事を通じた地域再生に尽力する。東北工業大学教授、共立女子大学教授等を歴任。1997年逝去(76歳)。



1. モノ・モノサロンでの風景



2. 秋岡氏がプロデュースした《101の器(森の器)》



3. KAKがデザインに携わった《三菱鉛筆 uni》



4. 《昼寝のできる女の椅子》



5. 熊本県伝統工芸館

## 会期中の イベント

### ワークショップ「スーパー竹とんぼ作り」

1月6日(土) 13:00 - 15:00

会場: 美術館アトリエ

定員: 20名(要申込) 参加費: 100円

対象: 小学生以上(10歳未満は保護者同伴)

秋岡氏が生みの親のスーパー竹とんぼを作ります。

### ワークショップ「マイ竹箸作り」

1月20日(土) 14:00 - 16:00

会場: 美術館アトリエ

定員: 15名(要申込) 参加費: 100円

対象: 小学生高学年以上

竹を小刀で削って自分だけの箸を作ります。

### スペシャルギャラリートーク

1月20日(土) 13:00 - 13:30

会場: 展示会場

講師: 坂本尚文氏(熊本県伝統工芸館)

参加: 申込不要 ★要展示会チケット

### 学芸員による展示解説

1月13日(土) 13:00 - 13:30

会場: 展示会場

参加: 申込不要 ★要展示会チケット



### 交通アクセス

- JR: 松橋駅から右、道路沿いを南へ、2つめの踏切を渡り50m進むと左に国道266号線下の小さなトンネル。それを潜ると美術館。(徒歩8分)
- バス: 松合経由三角行き不知火支所前下車(1日9便)
- 車: 九州自動車道松橋インターより天草三角方面へ4km



宇城市不知火美術館  
SHIRANUHI MUSEUM OF ART

〒869-0552 熊本県宇城市不知火町高良 2352  
TEL: 0964-32-6222 FAX: 0964-32-6223  
<http://kumamoto-museum.net/shiranuhi/>